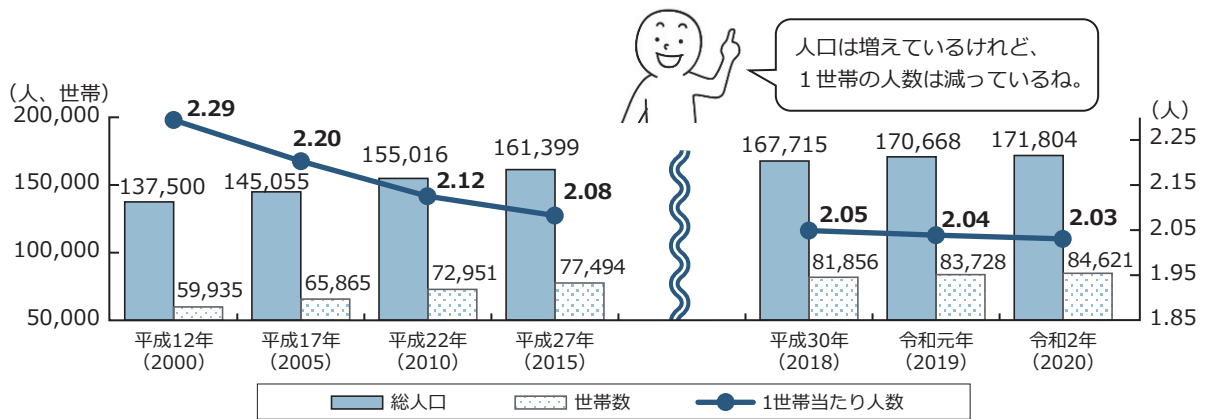




# 1 わがまちを知る

## DATA 人口・世帯数は増加傾向、1世帯当たりの人員は減少傾向



資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」（各年9月末日現在）

# 2 地域福祉を調べる

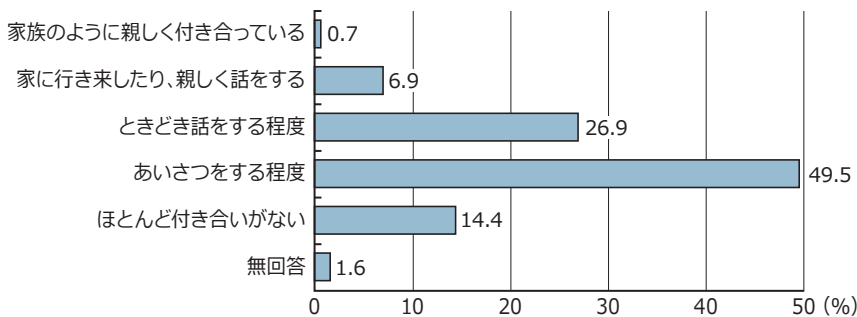
## 第5回川崎市地域福祉実態調査結果（幸区分）

対象者 20歳以上の男女900人、有効回収数 305人(33.8%)  
 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出  
 調査方法 郵送配布・郵送回収  
 調査時期 令和元(2019)年11月28日～令和元(2019)年12月20日



実態調査結果の詳細はこちらからご覧いただけます

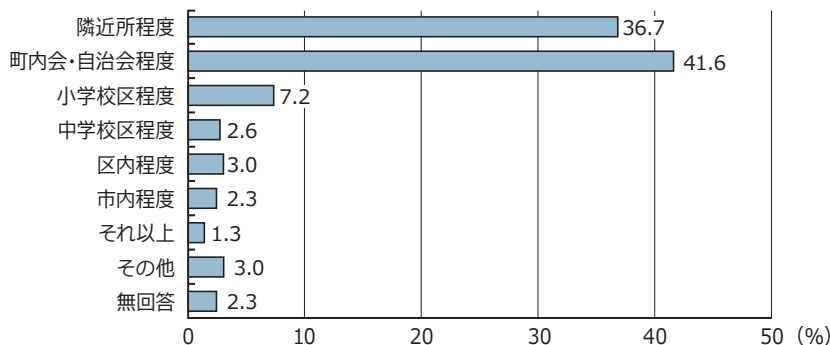
## DATA ご近所の方とは、普段どの程度のお付き合い？



あいさつをする程度、ときどき話をする程度で約8割近くいるね。



## DATA 助け合いができる地域ってどれくらい？



隣近所や町内会・自治会程度の範囲が多いんだね！



基本理念 夢が広がり、想いがつながり、心が届くまちさいわい

基本目標 1  
【自助】

一人ひとりに  
【ひろがる】



地域包括ケアへの理解と参加の**広がり**による区民主役の地域づくり

重点項目

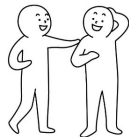
方針 1-1 わがまちや地域包括ケアのことを知る

方針 1-2 生涯を通じた**健康づくり**を進める

方針 1-3 地域活動の**担い手**を広げる

基本目標 2  
【互助】

地域で  
【つながる】



人と地域の**つながり**が活発で、見守り、支え合うことのできる地域づくり

重点項目

方針 2-1 多様な地域活動から**つながる**

方針 2-2 多様な**つながり**から、**新たな地域活動**を育む

重点項目

方針 2-3 多様な人がともに住むことへの**理解を深め**、互いに**見守り・支え合う**

基本目標 3  
【共助・公助】

必要な時に  
【とどく】



総合的な体制で必要な相談・支援が**届く**仕組みづくり

重点項目

方針 3-1 支援が必要な方に、**専門性の高い情報**を的確に届ける

方針 3-2 包括的な**相談支援機能**を充実する

方針 3-3 **防犯・防災**のまちづくりを進める

基本目標 4

【すすめる】

地域福祉を**進める**基盤体制の確立とネットワークづくり

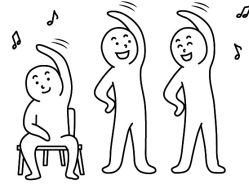


# 基本目標 1

## 〔 ひろがる 〕

### 一人ひとりに

地域包括ケアへの理解と参加の**広がり**による区民主役の地域づくり

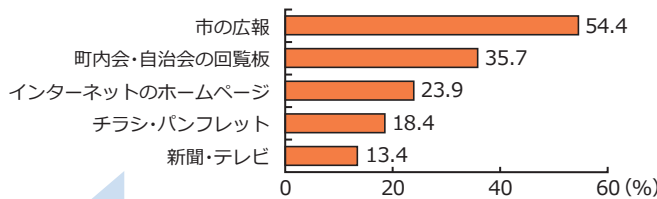


### 基本方針 1-1 わがまちや地域包括ケアのことを知る

DATA 1-1

#### 保健や福祉の情報は市の広報から

保健や福祉の情報をどこから得ているか (複数回答・上位5項目)



保健や福祉の情報を得るのは、「市の広報」が54.4%と圧倒的に多い状況です。

資料:令和元年度川崎市地域福祉実態調査

#### ●保健福祉情報さいわい



保健福祉に関する情報を掲載し、年3回、全世帯へ配布します。

#### ●子育て家庭向けの講座



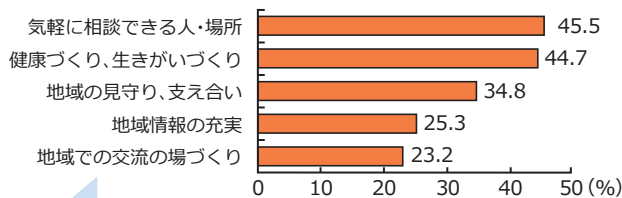
子育て世帯に関係するテーマの講座を開催します。

### 基本方針 1-2 生涯を通じた健康づくりを進める

DATA 1-2

#### 相談できる人・場所や健康づくり等が暮らし続けるために必要

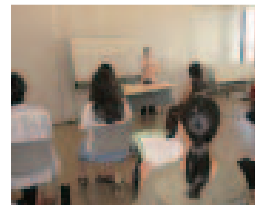
住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なことは何か (最大5つまで回答・上位5項目)



「気軽に相談できる人・場所」が45.5%、「健康づくり・生きがいづくり」が44.7%と高い状況です。

資料:令和2年度幸区区民アンケート

#### ●両親学級の開催



初めて出産される方やそのパートナーの方を対象に妊娠中・出産・育児の講話を行います。

#### ●シニアの社会参加支援

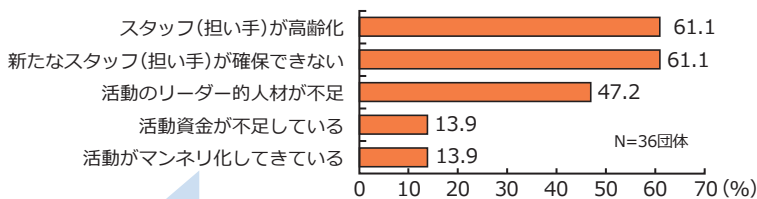


毎年テーマを変え、区民が興味湧く講座を開催し、社会参加のきっかけづくりを行います。

### 基本方針 1-3 地域活動の担い手を広げる

DATA 1-3

#### 地域福祉活動をする上で困っていることは高齢化、人材不足



幸区内で活動する団体が困っていることは、「スタッフ(担い手)が高齢化」「新たなスタッフ(担い手)が確保できない」「活動のリーダー的人材が不足」が上位となっています。

資料:令和元年度川崎市地域福祉実態調査

#### ●市民活動交流イベント



様々な分野の市民活動団体が活動をPRする場として、市民活動交流イベントを開催しています。

#### ●中高生向け地域活動ボランティア「さいわいはっぴーボランティア」(はび☆ボラ)



中高生が区内の地域活動へ実際に参加するボランティア活動の体験を通して、興味・関心を高める機会をつくります。

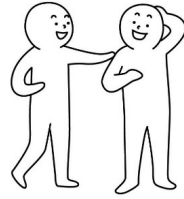




# 基本目標 2 〔 つながる 〕

## 地域で

人と地域のつながりが活発で、見守り、支え合うことのできる地域づくり

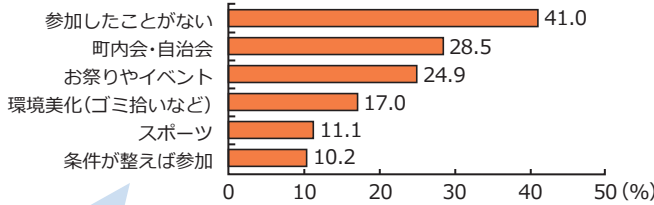


### 基本方針 2-1 多様な地域活動からつながる

DATA 2-1

#### 地域活動やボランティア活動に「参加したことがない」が約4割

参加している地域活動等 (複数回答・上位6項目)



地域活動やボランティア活動に「参加したことがない」が41.0%、次いで、町内会・自治会、お祭りやイベント、環境美化、スポーツに関する活動への参加経験が続いています。

資料:令和元年度川崎市地域福祉実態調査

#### ●シニアカがやき情報誌の発行 おこさまっぷさいわいの発行



高齢者向けの健康づくりグループの活動紹介冊子や、子育て世帯向けの地域情報の紹介冊子を発行しています。

#### ●公園を活用した子育て広場



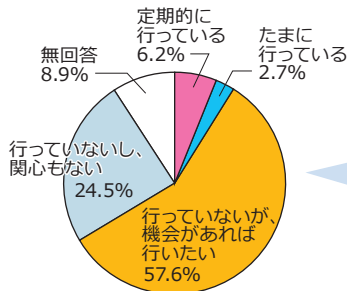
身近な公園での親子の交流の場や遊び場確保と、子育て支援を担う人材育成を行います。

### 基本方針 2-2 多様なつながりから、新たな地域活動を育む

DATA 2-2

#### 「機会があれば、地域包括ケアシステムに関わる行動をしたい」が6割弱

「地域包括ケアシステム」で市民に期待される行動の実践度



地域包括ケアシステムについて知らない、又は何をしたらよいかかわからないという人のうち、地域包括ケアシステムに関わる行動を「行っていないが、機会があれば行いたい」と考える人が57.6%となっています。

資料:令和元年度川崎市地域福祉実態調査

#### ●ソーシャルデザインセンターの運営支援



人や団体・企業、資源・活動をつなぐソーシャルデザインセンター(新川崎タウンカフェ内)の運営を支援します。

#### ●提案型協働推進事業



地域課題解決に資する公益性の高い事業を実現できる市民活動団体等から事業提案を募集し、協働して事業を行います。

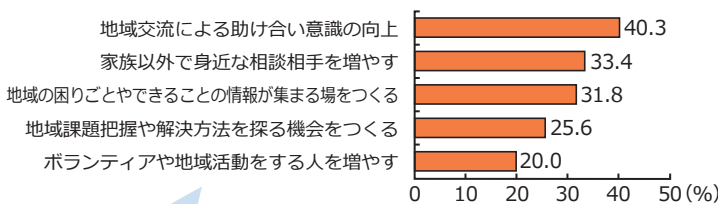
※写真は、studioFLATのアーティストイベント

### 基本方針 2-3 多様な人がともに住むことへの理解を深め、互いに見守り・支え合う

DATA 2-3

#### 地域交流による助け合い意識の向上が必要と考える人が多い

地域福祉を推進するために市民が取り組むべきこと (複数回答・上位5項目)



「地域交流による助け合い意識の向上」が40.3%とトップで、次いで、「身近な相談相手を増やす」、「地域の困りごとやできることの情報が集まる場をつくる」が続いています。

資料:令和元年度川崎市地域福祉実態調査

#### ●パラスポーツ体験会の開催



様々な世代の住民同士が、障害の有無に関わらず、スポーツを通して交流を図る取組を進めます。

※写真は、ボッチャ体験

#### ●ご近所支援愛事業



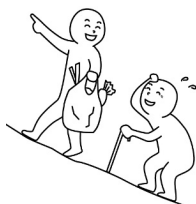
町内会・自治会単位で部会を設置し、地域の気になる高齢者等の情報を共有し、地域でできる支援の検討及び見守り活動を実施します。



# 基本目標 3 〔 とどく 〕

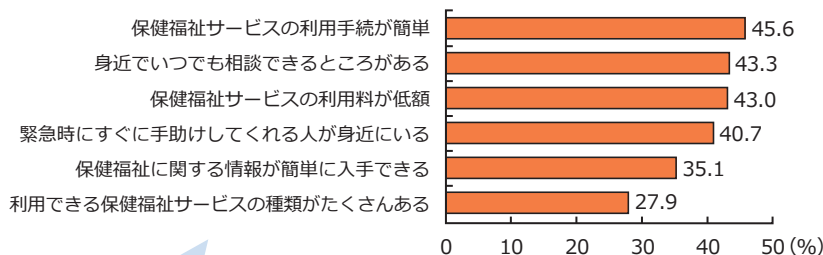
## 必要な時に

総合的な体制で必要な相談・支援が届く仕組みづくり



### 基本方針 3-1 支援が必要な方に専門性の高い情報を的確に届ける

**DATA 3-1** 保健福祉サービスの利用手続きが簡単であることが必要  
心配事を解決するために必要と思われることは何か (複数回答・上位6項目)



「保健福祉サービスの利用手続きが簡単」が45.6%、次いで「身近でいつでも相談できるところがある」、「保健福祉サービスの利用料が低額」が続いています。

資料:令和元年度川崎市地域福祉実態調査

● 保育所・地域子育て支援センターでの育児相談



子育て中の居場所づくりと子どもの健やかな成長のために専門職が育児相談を行います。

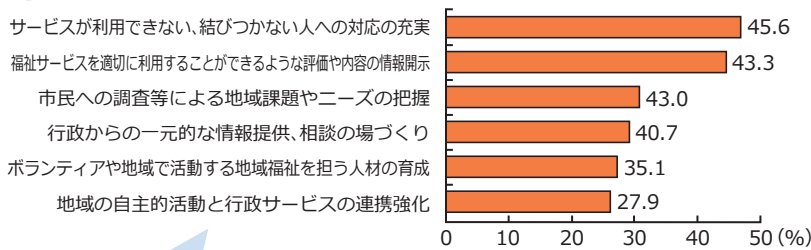
● 高齢者・障害者向けの制度利用案内



介護保険制度や高齢者・障害者向けの各種制度利用に関する案内冊子を配布し、相談対応を行います。

### 基本方針 3-2 包括的な相談支援機能を充実する

**DATA 3-2** サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実が必要  
地域福祉を推進するために行政が取り組むべきこと (複数回答・上位5項目)



「保健福祉サービスの利用手続きが簡単」が45.6%、次いで「身近でいつでも相談できるところがある」、「保健福祉サービスの利用料が低額」が続いています。

資料:令和元年度川崎市地域福祉実態調査

● 父親向け育児講座



父親の育児参加を促進するために、土曜日にパパッとサタデー講座を開催し、親子の遊びの場を提供します。

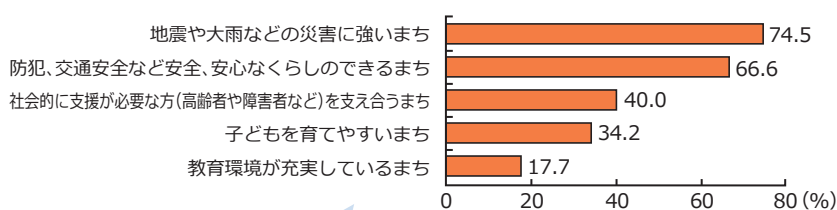
● 関係機関と連携した高齢者・障害者への相談支援



高齢者や障害のある方からの相談に対して、関係機関と連携して、的確な相談支援を行います。

### 基本方針 3-3 防犯・防災のまちづくりを進める

**DATA 3-3** 災害に強いまち、安全・安心な暮らしのできるまちへの意識が高い  
10年後の幸区についてどのようなまちをめざすべきか (最大5つまで回答・上位5項目)



「地震や大雨などの災害に強いまち」74.5%、「防犯、交通安全などの安全・安心な暮らしのできるまち」66.6%と高い。

資料:令和2年度幸区区民アンケート

● ぼうさい出前講座



防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域の防災力向上を図る講座を開催します。

● 避難所開設・運営訓練



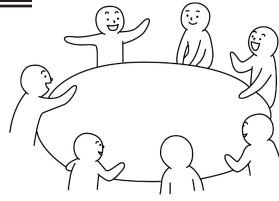
災害の発生時等に円滑な避難所開設と運営ができるよう、実践的な訓練を実施します。



## 基本目標 4

# 〔すすめる〕

地域福祉を進める基盤体制の確立とネットワークづくり



基本目標 4 は、**基本目標 1～3 までの取組を支える会議体等を位置付けています。**

地域福祉計画の推進に向け、**各事業・取組の進行管理や評価を行う**とともに、医療・看護・介護・福祉などの多職種が一体となった支援を充実させていくために、各種会議等の場を通じて、良い実践例や課題の共有を行い、さらにより良い取組が新たに生まれていく。

これらの活動の一つひとつが積み重なっていくことで、さらなる地域福祉の充実を目指していきます。

### 幸区社会福祉協議会との連携

#### 地域福祉活動計画とは

「幸区地域福祉計画」と相互に連携・補完する計画として幸区社会福祉協議会がつくる「幸区地域福祉活動計画」があります。この計画は、幸区の地域福祉を推進する実践的な計画で、住民・社会福祉を目的とする事業を経営する方や、社会福祉に関する活動を行う方が、共に取り組んでいくための参画と協働のあり方を示しています。

これまでも、幸区地域福祉計画と幸区地域福祉活動計画は相互に密接な連携を保ちながら事業展開してきました。今後も、行政と社会福祉協議会が同じ方向性で取組を進めていくため、両計画の基本理念、基本目標、計画期間を同一とし、地域課題を共有し双方が補強、補完しあいながら、それぞれの役割に応じて総合的に地域福祉を推進していきます。

#### 基本理念

**夢が広がり、想いがつながり、心が届くまちさいわい**

基本目標	基本方針
<b>基本目標 1</b> <b>【ひろがる】</b> 一人ひとりにひろがる	<b>基本方針 1 地域福祉活動の推進</b> 住民が主体的に関わりの持てる場づくりを進めます。
	<b>基本方針 2 住民の福祉意識の高揚とボランティア活動の推進</b> ボランティア活動を希望する方の相談、ボランティアグループの育成支援をします。また、若い世代の福祉活動への参加を促します。
<b>基本目標 2</b> <b>【つながる】</b> 地域でつながる	<b>基本方針 3 地域の見守り支援</b> 地域ニーズの把握とともに、地域の見守りと当事者グループの支援をします。
<b>基本目標 3</b> <b>【とどく】</b> 必要な時にとどく	<b>基本方針 4 総合的相談対応の推進</b> 福祉ニーズのある住民に対し、問題解決に向けた相談支援を行うとともに、住民を地域で支える仕組みづくりを検討します。
	<b>基本方針 5 当事者の生活支援</b> サービスが必要な方に対して、個別援助の相談、支援をします。
	<b>基本方針 6 災害時に備えた危機管理体制の充実</b> 災害時に、町会や関係機関と連携した体制が取れるよう、災害に強い地域づくりを進めます。
<b>基本目標 4</b> <b>【すすめる】</b> 地域福祉を進める基盤体制の確立とネットワークづくり	<b>基本方針 7 社会福祉協議会の基盤強化と地域連携</b> 安定的な財源の確保と組織運営体制の整備をします。また、地域の目指す姿の実現に向けた取組を推進するため、地域の関係機関と協働します。



